

公称 **50m プールチェックシート**  
(水球・シンクロ併用)

公認 No. \_\_\_\_\_

公認年月日 . . .

プールの名称		屋外・室内 (いずれかを○で囲むこと)	プール所有者
プール躯体の材質		所在地	

チェック内容

(一般・国際いずれかを○で囲むこと)

(各項目はすべて図面上に明示し、図面番号を記入のこと)

項目	一般プール	国際プール	申請内容	図面番号	公認測量者所見	日本水泳連盟記入欄	
長さ等	長さ 壁面の凹凸等	長さ50.01m (片側タッチ板) 50.02m (両側タッチ板) 許容過長値 (0~+10mm)	長さ50.02m (両側タッチ板) 許容過長値 (0~+10mm)	m		別紙測量結果 一覧表の通り	
	コースの数	7コース以上	10コース	コース		コース	
幅等	コース幅	2.50m	2.50m	m		m	
	コース外余幅	0.20m以上で 休息だなの幅以上	0.00m以上	休息だなの幅		休息だなの幅	
				余幅	m	余幅	m
	全幅	17.9m以上	25.0m以上	m		m	
水深	1.35m以上 水球用2.00m以上	2.00m以上 (最適3.00m)	最浅	m		m	
			最深	m		m	
端壁面の構造	滑り止め仕様 (端壁上端から 水面下0.80m以上まで)	同左	水面下	m		適・不適	
	水面上の 立ち上り	タッチ板を装着する端壁 0.30m タッチ板を装着しない端壁 0.20m以上0.30m以下	0.30m	m		適・不適	
			0.30m	m		適・不適	
コースライン	幅	0.20m~0.30m	同左	0. m		0. m	
	色	暗色 (色名記入のこと)	同左	底面	色		適・不適
				端壁	色		
	床面	壁端から2mまで	同左	有			適・不適
	端壁	水面上の立ち上り (原則端壁上端まで最低0.10m)		0. m		適・不適	
クロスライン	底面コースライン両端に1m長、 端壁水面下0.3mに0.5m長 15mの位置に0.5m長	同左	有			適・不適	
スタート台	材質	(材質名)	(材質名)			適・不適	
	面積	0.50m×0.50m以上	0.50m×0.60m以上	m× m		m× m	
	高さ (水面上)	0.50m~0.75m	同左	0. m		0. m	
	傾斜角	10度以内	同左	度		度	
	表面仕上げ	滑り止め仕様	同左	有		適・不適	
	ターン側	同様のスタート台の有無	スタート台設置	有		適・不適	
	前方飛込スタート グリップ	前面・両サイド	同左	有		適・不適	
	背泳ぎ用 スタート握り	水面上0.60m以下で水面上0.30mに タッチ板で上端がくるようにして使用 可能な高さ	同左	水面上 0. m			適・不適
		水平又は垂直	同左	水平・垂直			適・不適
		端壁面より突出させない	同左				適・不適
	コース番号	ブロック式4面、連続式前面	同左	有		適・不適	
配列	右端を1コースとする。10コースは0 コース	右端を0コースとする			適・不適		
据付	固定式・着脱式の別	同左	固定・着脱		適・不適		
背泳ぎ用ターン標識	両端壁から5.0m	同左	m		m		
	ロープの高さ1.8m	同左	m		m		
側壁の背泳ぎ用チェック標識	壁から各15m	同左	有		適・不適		
不正出発防止用ロープ	スタート台から15.0m	同左	m		m		
	水面上の高さ1.20m以上	同左	m		m		
コース・ロープ・パイ	直径50mm~150mm以下	同左	mm		適・不適		
飛込プールとの間隔	屋外10.0m以上、室内5.0m以上	同左	m		m		

公認測量者署名・㊟

審査担当委員署名・㊟